治



旅館やホテ

杖の湯跡(つえのゆあと)

現弘法湯の裏手にひっそりと佇む

弘法大師が東北巡行の帰り、道の真ん中 で通行を困難にしていた大きな石を呪 文を唱えて杖で寄せたところ、そこから 温泉が湧き出したと伝えられています。



地蔵古墳

大きなものは2つ現存

塩澤寺裏手から湯村山の 遊歩道を少し登ったとこ ろにあります。横穴式の石 室が開口しています。全長 6m。※絶対に中に入らない



塩澤寺(えんたくじ)

厄年の厄除に大人気です

弘法大師が開山し、空也上人 が創立したとされるお寺で、 毎年2月13日正午から14日正 午に開かれる「厄除け地蔵尊 祭り」には県内外から大勢の 人々が訪れます。東西に長く 枝を伸ばした樹齢450年以上 の「舞鶴の松」(山梨県指定 天然記念物)も見事です。



観

の知

温

6世紀後半の直径約45mの大型円墳で、全長約17mを測 る石室の規模は県内2位を誇っています。埴輪が見つかっ ている、県内では数少ない古墳のひとつです。





諸説ありますが、湯村温泉郷にある8 つの史跡をいいます。塩澤寺、鷲 の湯跡、杖の湯跡、八の宮跡、湯権現 の伝説(湯谷神社)、そして、地蔵古 墳•加牟那塚古墳、煙硝蔵(万寿森古 墳) のことをいいます。



湯村を開発した人物ゆかり

北山三十三観音巡りの一番札所。慶 長2年(1597)に大野主水によって創 建されました。彼は武田家に仕え、 湯村温泉郷を開発した人物です。ご 本尊の観音菩薩は身代わり観音と して知られています。





營の湯跡(わしのゆあと) 鷲がお風呂に?

その昔、鷲が日に何度も飛んできてい たところを掘ってみたらお湯が湧き出 たという伝説が残されています。

湯谷神社(ゆたにじんじゃ) 上の境内からはアルプスの絶景

秋葉権現と大宮さん、湯村温泉郷の守り 神・湯谷権現を合わせて祀る古い神社。境 内には石鳥居、庚申塔、石祠などが数多く 残っています。「湯権現の伝説」もあります。





湯村温泉郷ゆかりの人物資料室 太宰をはじめ文豪との縁を紹介

湯村温泉郷には名だたる文豪が滞在し執筆活動を行いました。 その歴史を趣向を凝らして様々な角度から紹介しています。 【DATA】●無料 ●10:00~17:00 ●日曜、年末年始



水道みち

湯川にそって北西に まっすぐ伸びる道を通 称こう呼んでいます。平 瀬浄水場から愛宕山の 配水池まで1.8kmの道 に水道管が埋まってい たのでこの名がつけら れました。



塩がとれた?

湯量は豊富でしたが、 非常に塩分の高いお 湯でした。塩澤寺や塩 部という名はその名残 りといわれ、江戸期か ら明治期には牛馬が休 む浅瀬の湯船も設けら れていたそうです。





千塚公園 (ちづかこうえん) トイレや駐車場があります。 広い芝生の公園です。

万寿森古墳(まんじゅもりこふん) 火薬保管にも使った

北部市民センター

甲府信用金庫

入り口から奥まで14mの大きな横穴式石室が ある6世紀後半の円墳です。江戸時代には火 薬庫として使われ、「煙硝蔵」と呼ばれていまし

※甲府駅南口から湯村方面路線バスがあります

※甲府駅南口にはレンタカー会社が多数あります ●各ポイントとも■マークの無い所は駐車場はありません ■マークは有料駐車場です



神明神社(しんめいじんじゃ) 太宰もここに来たのでしょうか

甲府代官・中井清太夫が御祭神。 武田氏滅亡後、甲府城築城で全 戸移住を命じられた塩部の人々 は、耕地が遠く大変でした。着任

してきた彼に嘆願するとやっと願いが聞き入れられたので、感 謝の意を込めて祀ったと伝わります。



ほんとに鰻の絵馬があるのです

昔、隣の相川で洪水が起きると、疫病が流行し住民を困らせ ていました。川の神を鎮めるため、鰻を奉納したところ、洪水 も収まり病も終息したという言い伝えが残っています。



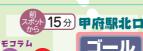


御金蔵稲荷

前の鉄柵は子供のボール除け? 享保19年(1734)甲府城追手門か ら約1400両(現在で1億円以上)も が盗まれた御金蔵破りの後につく られたことから、今では盗難除けの 御利益があると親しまれています。

慶長院(けいちょういん)

当時の雰囲気を色濃く残す参道 横沢通り沿いにある曹洞宗のお寺。甲府城の山手門 を移築したと伝わる山門(黒門)があります。甲府空襲 の際にも焼けずに残り、風格を漂わせています。





太宰の人生が平穏な時でした。

井伏鱒二にお世話してもらったり、周囲の人々も 穏やかで、太宰治の人生の中でも甲府に居た頃 が「人生で一番落ち着いていた」ようです。今日 は、のんびり湯豆腐で晩酌しますか?





太宰の新居のすぐ西にあった神社です。もとは笛吹市に祀ら れていた武田氏館の鎮守を信虎が甲府へ遷座。その後、徳川 時代に現在地へ移されました。

当時は家も少なく…

ふたりが昭和14年1月8 日から8月まで住んでい た場所です。御崎神社の 手前にある石碑から右 奥へ少し入った所にあり ました。





喜久の湯ほくのゆ

太宰にちなんだイベントも時々開催 新婚時代、太宰治が通った温泉。創業は昭和9年で、その

後改築されましたが、レトロな雰囲気が堪能できます。



清運寺(せいうんじ)

さな子さんのこと知ってたのかな? 日蓮宗のお寺。寿館はこのお寺の参 道に面していました。太宰も踏みし めたであろう当時の敷石は現在、境

内の藤棚下に移されています。

の様子を

朝

日

n

※このお寺にはまた、坂本龍馬の婚約者だったとされる千 葉さな子さん(千葉道場の定吉の娘)のお墓もあります。



寿館跡(ことぶきかんあと) この路地の奥の中程です

井伏鱒二を通じて紹介された美知子さんと のお見合いはうまくいき、太宰は天下茶屋か ら石原家近くのここへ下宿を移し、結婚前に 石原家との親交を深めました。向かいには 大きな製糸工場があったとされています。

※手前の角は三味線屋さんです



12

第 10 分 石原家実家跡

奥さんのご実家ですね

太宰治の妻・石原美知子さんの実 家跡です。この辺りは当時、水門町 と呼ばれたところ。昭和20年には 東京から疎開してきたものの、甲 府空襲で全焼してしまいます。



たまち+

H崎方代/長 H道古墳群+